

2011年5月11日

2010年度（平成23年3月期） 決算説明会



2010年度 決算の概要



(単位:億円、端数四捨五入、()内は利益率(%))

	2009年度 実績	2010年度 計画	2010年度 実績	前年比 増減(%)	計画比 増減(%)
売上高	3,319	3,700	3,688	+11	-0
営業利益	(3.8) 127. ²	(4.4) 162	(4.3) 159. ⁴	+25	-2
経常利益	(3.8) 126. ⁷	(4.4) 161	(4.3) 159. ²	+26	-1
税引前利益	(3.7) 124. ⁰	(4.1) 151	(3.7) 135. ⁷	+9	-10
当期純利益	(1.8) 58. ²	(2.1) 78	(1.8) 68. ¹	+17	-13
1株当たり 配当	20円	22円※	22円※	+2円	-

※創業60周年記念配当2円を含む

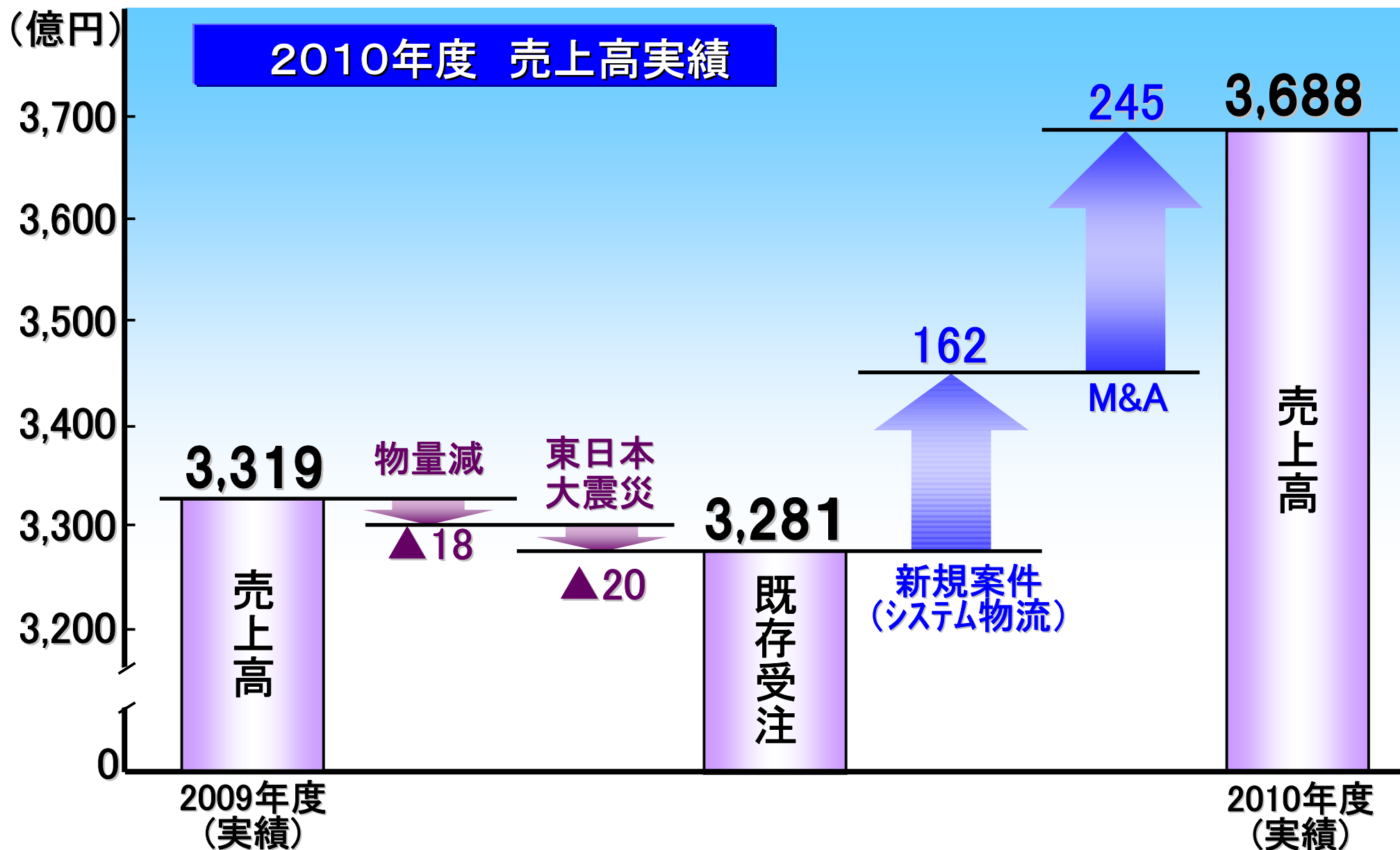
2010年度 決算の概要(セグメント別)



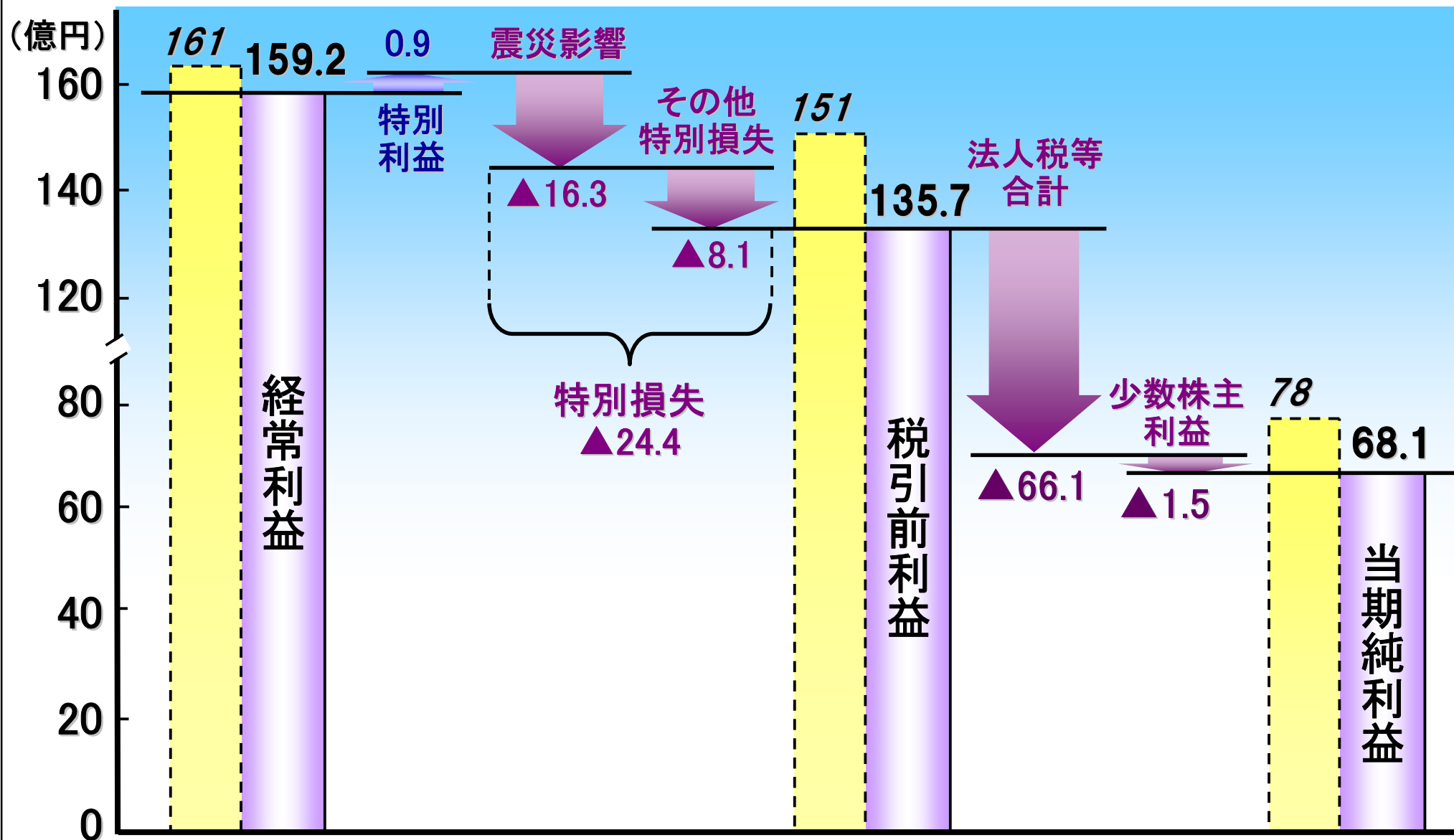
(単位:億円、端数四捨五入、< >内は構成比(%))

	売上高		営業利益	
	実績	前期比 増減(%)	実績	前期比 増減(%)
国内物流事業	<70> 2,569	+5	(8.5) 218	+14
内、システム物流	(2,155)	(+7)		
国際物流事業	<25> 933	+31	(1.6) 15	+15
内、システム物流	(714)	(+42)		
その他事業	<5> 186	+14	(14.8) 28	+83
(消去又は全社)	—	—	△ 101	—
合計	<100> 3,688	+11	(4.3) 159	+25
内、システム物流	(2,869)	(+14)		

2010年度 決算の概要(売上高増減)



2010年度 決算の概要(経常利益～当期純利益)



※ は計画値を表す



システム物流の主な受注・立上状況推移(一般顧客向け)

		2009年度		2010年度	
立上	前期受注 当期立上	46件	6件	55件	14件
	当期受注 当期立上		40件		41件
受注	当期受注 次期立上 (受注残)	54件	14件	66件	25件

※上記の件数は、1,000万円/月以上の大口案件を表示

2010年度の新規案件売上高寄与は162億円

2010年度 決算の概要(M&Aの実績)




区分	稼働時期	案件名	売上高		
			2009年度 (実績)	2010年度 (実績)	2010年度 (寄与分)
国内	2009年7月	内田洋行子会社株式譲受	62億円	87億円	25億円
海外	2009年10月	JPH社(米国)株式譲受	19億円	104億円	85億円
海外	2010年4月	FLYJAC社(インド)株式譲受	—	66億円	66億円
海外	2010年12月	大航社連結化	—	17億円	17億円
国内	2011年1月	DIC子会社株式譲受	—	40億円	40億円
国内	2011年2月	ホームック子会社株式譲受	—	12億円	12億円
合計			81億円	326億円	245億円



事業所の被災状況

地 域	稼働停止	一部稼働停止	合 計
東 北	2ヶ所	2ヶ所	4ヶ所
茨 城	2ヶ所	9ヶ所	11ヶ所
そ の 他	0ヶ所	6ヶ所	6ヶ所
合 計	4ヶ所	17ヶ所	21ヶ所

※  の事業所は現時点において、復旧に向けて対応中
 ※事業運営上、影響が軽微の事業所は上記に含めず

2010年度業績への影響

売上高	営業利益	特別損失
約20億円	約6億円	約16億円※

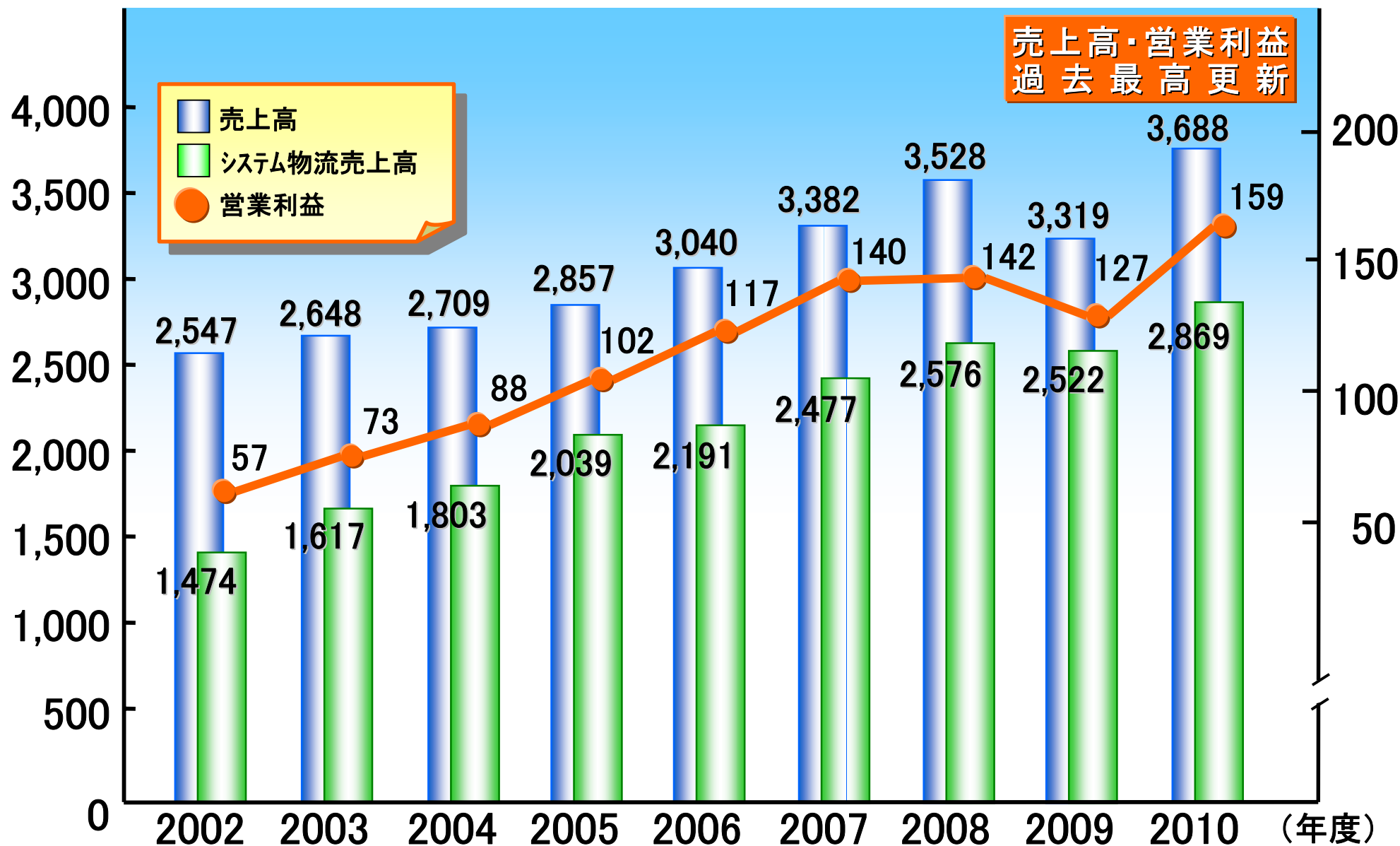
※のれん代一時償却を含む

2010年度 決算の概要(業績推移)



(売上高:億円)

(営業利益:億円)



2010年度 決算の概要(財務指標等)



		2009年度	2010年度
総資産	(億円)	2,312	2,466
自己資本 (○は自己資本比率(%))	(億円)	62.9 1,453	60.0 1,478
1株当たり純資産	(円)	1,302.56	1,325.72
1株当たり当期純利益	(円)	52.13	61.01
1株当たり配当(年間)	(円)	20	22
自己資本利益率(ROE)	(%)	4.1	4.6
総資産利益率(ROA)	(%)	2.5	2.8
株価純資産倍率(PBR)	(倍)	1.01	0.88
株 価	(円)	(2010.3.31) 1,317	(2011.3.31) 1,166

設備投資

(単位:億円)

	2009年度	2010年度
自家投資	53	74
(参考)賃借	107	284
減価償却費	94	97

物流センター面積

(単位:万㎡)

	2009年度	2010年度
国内	260	301
海外	63	70
合計	323	371

期末人員

(単位:人)

	2009年度	2010年度
グループ総人員	27,834	32,816
連結人員	12,283	14,700

大阪XD



賃借物件

所在地 大阪市西淀川区

稼働時期 2010月9月

建物面積 42,000㎡

取扱商品 生鮮食品等

座間物流センター



賃借物件

所在地 神奈川県座間市

稼働時期 2010月11月

建物面積 33,000㎡
(*弊社使用面積)

取扱商品 ドライ食品等

栃木流通センター



賃借物件

所在地 栃木県河内郡

稼働時期 2011月1月

建物面積 48,200㎡

取扱商品 ドラッグストア向け製品

DIC(株) 物流子会社



営業開始	2011年1月
社名	日立物流ファインネクスト(株)
本社	東京都江東区
資本金	3億円
持分比率	日立物流90%
売上高	178億円(2009年度)
人員	116名
事業内容	化学品物流

ホームマック(株) 物流子会社



営業開始	2011年2月
社名	(株)ダイレックス
本社	北海道札幌市
資本金	1億5,600万円
持分比率	日立物流90%
売上高	81億円(2009年度)
人員	369名
事業内容	ホームセンター向け物流

インド FLYJAC社



営業開始	2010年4月
社名	Flyjac Logistics Pvt. Ltd.
本社	インド・ムンバイ
資本金	5億2,400万円
持分比率	日立物流100%
売上高	52億円(2009年度)
人員	891名
事業内容	フォワーディング

中国 大航社連結化



2011年4月に新社屋へ移転

社名	大航国際貨運有限公司
資本金	3億1,600万円
売上高	65億円(2009年度)
人員	792名
事業内容	フォワーディング、陸運

日立物流持分比率30% → 85%

2010年12月より連結化

(株)バンテック 会社概要



本 社	神奈川県川崎市
設 立	2006年3月(創業1954年1月)
資 本 金	38億6,800万円
売 上 高	1,136億100万円(2009年度)
従 業 員 数	5,281名(連結)
車両保有数	トラック634台
拠 点 数	国内:46ヶ所、海外:47ヶ所
関連会社数	国内:7社、海外:18社
事 業 内 容	自動車部品物流 フォワーディング



日立物流

3PLの運営力・営業力

システム開発力

海外4極でのグローバル3PL展開



オート事業の運営力・営業力

フォワーディング力

オート事業のグローバル展開

シナジー効果

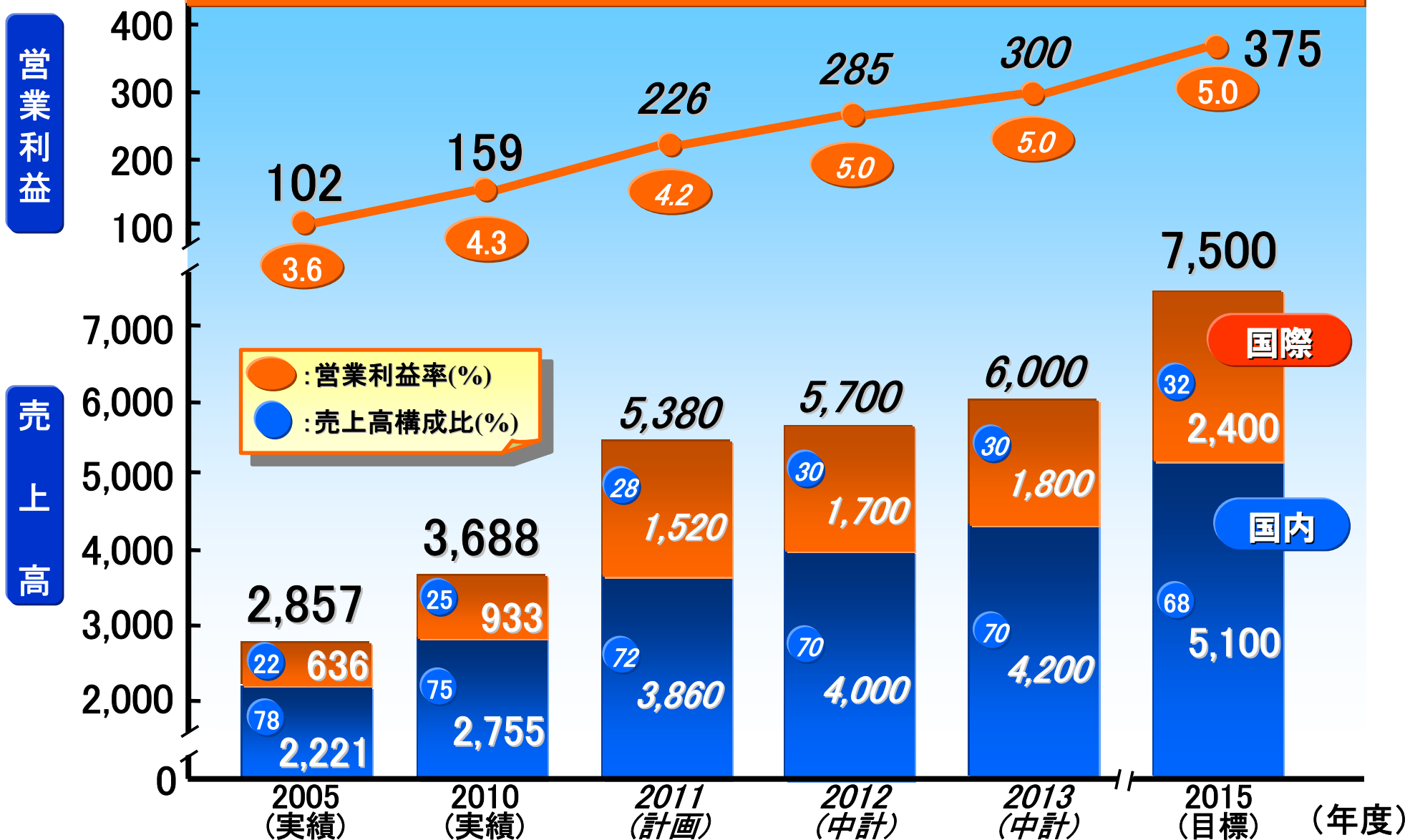
- ① 自動車部品物流のプラットフォーム化による3PL事業拡大
- ② 自動車部品以外の3PL事業の拡大
- ③ フォワーディング事業協業による事業拡大、競争力強化
- ④ 両社資産の相互活用による生産性向上

稼働時期	案件名	事業内容	波及効果
2007年4月	資生堂 子会社	化粧品保管・配送	プラットフォーム拡大
2008年4月	ESA社(チェコ)	陸運	海外サービス力強化
2008年9月	タカノフーズ 子会社	チルド食品保管・配送	プラットフォーム拡大
2009年3月	スミダロジネット	シューズ保管・配送	プラットフォーム拡大
2009年4月	河南新鑫日立物流(中国)	陸運	海外サービス力強化
2009年7月	内田洋行 子会社	オフィス家具配送・取付	プラットフォーム拡大
2009年10月	JPH社(米国)	陸運	海外サービス力強化
2010年4月	FLYJAC社(インド)	フォワーディング	海外サービス力強化
2010年12月	大航社 連結化	フォワーディング、陸運	海外サービス力強化
2011年1月	DIC 子会社	化学品保管・配送	プラットフォーム拡大
2011年2月	ホームマック 子会社	ホームセンター物流	プラットフォーム拡大
2011年4月	バンテック	自動車部品物流	プラットフォーム拡大 海外サービス力強化

2015年ビジョンの概要

(億円)

2011～2013年度は震災前の計画値。現在、見直し中。



経営ビジョン

高度な物流技術・現場ノウハウと多様なサービスメニューにより世界の生産と消費を結び、安全・安心・グリーンな物流で、人と地球にやさしい社会づくりに貢献

目標ポジション

日本発グローバルシステム物流企業NO.1

2015年度 数値目標

売上高	7,500億円
営業利益	375億円
営業利益率	5.0%



提携目的

相互補完・協業の促進

顧客ニーズへの対応力強化・企業価値向上

グローバル物流市場での継続的成長

プロジェクトカーゴを対象とした合弁会社の設立 (設立予定: 2011年7月)

【目的】 日立物流 : 日立Gr.以外の一般顧客への拡販
近鉄エクスプレス: 特殊貨物の取扱ノウハウの強化

プロジェクトカーゴ領域における
『営業・エンジニアリング・プロジェクトマネジメント』
を対象とした会社を設立



システム物流で、最適なロジスティクスを実現します。

グローバルビジネスを、シームレスにサポートします。

グリーン・ロジスティクスで、豊かな社会づくりに貢献します。